

## 産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年5月28日

呉市長 様

提出者

住所 呉市吉浦新町二丁目3-20

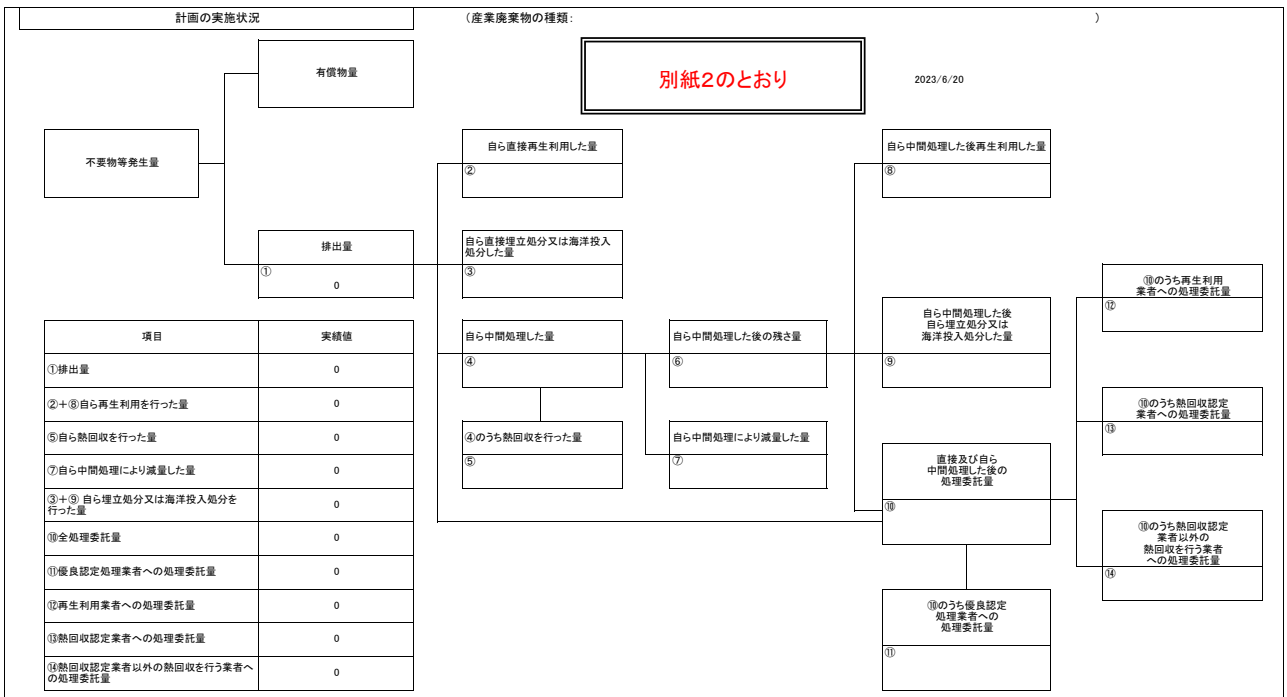
氏名 クレトイシ株式会社 呉工場  
取締役 伊藤 清彦

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0823-31-7171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	クレトイシ株式会社 呉工場		
事業場の所在地	呉市吉浦新町二丁目3-20		
事業の種類	研削と石製造業 [2172]		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値		<b>別紙3のとおり</b>	
項目	目標値	項目	目標値
排出量	675 t	全処理委託量	675 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への処理委託量	503 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	513 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投棄処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙2(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

( R6年度実績)

	単位:トン/年													
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
産業廃棄物の種類	排出量	自ら直接再生 利用した量	自ら直接埋立 処分又は海洋 投入処分した 量	自ら中間処理 した量	④のうち熱回 収を行った量	自ら中間処理 した後の残さ 量	自ら中間処理 により減量し た量	自ら中間処理 した後、再生 利用した量	自ら中間処理 した後、自ら 埋立処分又は 海洋投入処分 した量	直接及び自ら 中間処理した 後の処理委託 量	⑩のうち優良 認定処理業者 への処理委託 量	⑩のうち再生 利用業者への 処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者へ の処理委託量	⑩のうち熱回 収認定業者以 外の熱回収を 行う業者への 処理委託量
燃え殻	0									0	0	0		
汚泥	434									434	394	402		
廃油	18									18	0	0		
廃酸	0									0	0	0		
廃アルカリ	0									0	0	0		
廃プラスチック類	30									30	27	30		
紙くず	6									6	6	6		
木くず	12									12	0	12		
繊維くず	0									0	0	0		
動植物性残さ	0									0	0	0		
動物系固形不要物	0									0	0	0		
ゴムくず	1									1	1	1		
金属くず	3									3	3	3		
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	62									62	0	0		
鋳さい	0									0	0	0		
がれき類	0									0	0	0		
動物のふん尿	0									0	0	0		
動物の死体	0									0	0	0		
ばいじん	0									0	0	0		
廃乾電池	0									0	0	0		
廃蛍光灯	0									0	0	0		
PCB	0									0	0	0		
特定有害廃油	11									11	4	4		
合計	577	0	0	0	0	0	0	0	0	577	435	458	0	0

※上記に分類できない産業廃棄物がある場合に限り、空欄へその産業廃棄物の具体的な名称を記入してください。  
様式第二号の九の第2面に記載された産業廃棄物の発生から処理までのフロー(①~⑭)に示す量を表に記入。

単位:トン/年

	業 績 値									
	(1)	(2)+(8)	(5)	(7)	(3)+(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)
産業廃棄物の種類	排出量	自ら再生利用を行った量	自ら燃回収を行った量	自ら中間処理により減量した量	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	全処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	再生利用業者への処理委託量	燃回収認定業者への処理委託量	燃回収認定業者以外の燃回収業者への処理委託量
燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥	434	0	0	0	0	434	394	402	0	0
廃油	18	0	0	0	0	18	0	0	0	0
廃酸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類	30	0	0	0	0	30	27	30	0	0
紙くず	6	0	0	0	0	6	6	6	0	0
木くず	12	0	0	0	0	12	0	12	0	0
繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0
金属くず	3	0	0	0	0	3	3	3	0	0
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	62	0	0	0	0	62	0	0	0	0
錆さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物のふん尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動物の死体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃乾電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
廃蛍光灯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PCB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定有害廃油	11	0	0	0	0	11	4	4	0	0
合計	577	0	0	0	0	577	435	458	0	0

別紙3(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画実施状況報告書)

( R6年度実績)

単位:トン/年

	目標値		実績値
排出量	675	①排出量	577
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0	②自ら直接再生利用した量	0
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0	⑤自ら熱回収を行った量	0
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0	⑦自ら中間処理により減量した量	0
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0	③自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0
全処理委託量	675	⑩全処理委託量	577
優良認定処理業者への処理委託量	503	⑪優良認定処理業者への処理委託量	435
再生利用業者への処理委託量	513	⑫再生利用業者への処理委託量	458
熱回収認定業者への処理委託量	0	⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0